

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 198
【発行・編集】
MASUKI 情報デスク
増木直美
大阪府豊中市上新田 2-6-25-113
TEL 090-3621-1509
FAX 06-6835-0974
http://mid.parfe.jp/
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう

田母神閣下、眞悟先生、ますます青春!

楽しくなる度 ☆☆☆☆保障
加茂川に宴する

H30-6-23 西村眞悟FBより

昨日、二十二日、当然のことをして、当たり前のことを言ったことで、所属する国家組織から更迭された四人のオッサンが、京都先斗町の、加茂川に面した棚の上に集まり、ドンチャンとなった。その四人とは、以下の者。平時型ではないが、戦時になれば、国の為に身の危険を顧みずやる奴ばかりだ。

「日本はよい国だ」と論文に書いて航空幕僚長を更迭された田母神俊雄

キャンプシユワプの基地内に不法侵入した反基地活動家が、侵入していないと嘘を言い続けるので、侵入している映像を公開して、在沖縄アメリカ海兵隊外交政策部次長を更迭されたロバート・D・エルドリッジ

尖閣周辺の我が国領海内に侵入していた中共の漁船を偽装した不審船に

我が国の巡視船が、退去を促したところ、突如、当該不審船が我が国の巡視船に体当たりをして逃走したので巡視船が不審船を確保し船長を逮捕したところ、中共当局も船長も、不当な体当たりをしたのは巡視船であり、不審船は暴虐な日本官憲の被害者・犠牲者である旨の嘘を主張し続けるので、不審船が巡視船に体当たりする現場の映像を公開して海上保

安官を更迭された一色正春

「日本も核武装するかどうか議論せなあかんなあ」と発言して防衛政務次官を更迭された西村眞悟

京都の祇園や上七軒と並ぶ伝統の色町である先斗町の加茂川右岸には、初夏から夏が終わるまで棚が作られ、その上で、飲食する風習がある。しかし、左岸、つまり東側は、右岸とは別世界で、学生やルンペンでも飲める店がある。川端二条の「赤垣屋」は、今は違つが、その頃は、五百円〜千円で関東炊きが腹一杯で酒は一升飲めた。若い頃の今西錦司や西堀栄三郎ら山岳のパイオニアワーカー達がぐでぐでんになつていたその「赤垣屋」で、僕

もぐでんぐでんになり、道を渡つて加茂川にて歩き西を望めば、向かいの先斗町の棚に舞妓や芸妓の姿が見える。夜の闇の行灯に浮かぶ、あの舞妓や芸妓の真っ白の化粧は、酔眼にもものすごく美しく見えるんだ。だから僕は、そのまま加茂川を渡渉し、先斗町の棚の下に立ち、棚をよじ登った。その頃は、いつも岩をよじ登る訓練をしていたのだ。

・ ・ ・ それから何十年経つたのか! 昨夜、その棚の上にあった。加茂川を渡る



風は、学生時代の風と同じだった。そして、懐かしい何百回も登った大文字山の方を眺めていたら、小便がしたくなってきた。そこで、学生の時のように、加茂川にしようとして一瞬思ったが、ロバートの奥さんも棚の上だったのでやめた。以上、加茂川に宴する
◎みなさんちょくちょくご機嫌ですわ・・・!
四氏の集まりは政治的というより日本の文化ですね。 マスキ

「M情報」は連合艦隊です。その旗艦が「NPO 法人百人の会 (理事長、辻淳子大阪市会議員)」。2番艦が「英霊を被告にして委員会 (代表中村重行)」、3番艦が「憲法一条の会 (代表小野馨子)」。これらの団体に頂戴のご意見等を M 情報の責任で発信しています。

《M 情報活動報告》編集指針：政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

加瀬英明先生の韓半島ウォッチ

■「加瀬英明の「コラム」メールマガジンより

H30-4-25 日本を叩く①
軍事的役割を果たせなければ、プルーヤーになり得ない

米南部フロリダ州にあるドナルド・トランプ大統領の別荘「マールアラゴ」に、安倍晋三首相が乗り込んで17、18日(米国時間)、日米首脳会談が行われた。これまで、日本の新聞やテレビは、安倍首相とトランプ氏との「緊密な関係」を強調してきたが、本当にそうなのだろうか？

トランプ氏は就任1年3カ月目に入ったが、世界のリーダーで安倍首相ほど会った回数が多い首脳はいない。トランプ氏が大統領選で勝利した直後、安倍首相は真っ先にニューヨークのトランプタワーに駆け付けた。首脳会談としては6回目で、20回ほど電話で話し合っている。だが、昨年11月にトランプ氏が訪日したときを最後に、「2人の『蜜月時代』は終わった」と言わねばならない。

トランプ氏は3月8日、北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)朝鮮労働党委員長と会談すると発表して、世界を驚かせた。日本にとって朝鮮半島危機は死活問題であり、日本は米国のアジアにおける最も重要なパートナーだが、日本と事前に協議することはなかった。

3月末、トランプ氏は、鉄鋼とアルミニウムの輸入制限を発動した。カナダやメキシコ、EU、韓国などは輸入制限の対象外となったが、日本は適用対象となった。トランプ氏が昨年まで、安倍首相を「師」のように扱ったのは、自分が「外交のシロウト」であり、安倍首相から学ぶことが多かったからだ。もちろんトランプ氏は今回の首脳会談で、安倍首相夫妻を歓迎した。だが、米国にとって、日本がアジアにおいて唯一信頼でき、言うことを聞かせることができる大国であるからだ。日本は、6月初旬までに行われる米朝首脳会談で「蚊帳の外」に置かれてはいるが、自業自得だ。米国の保護にただ依存して、軍事的役割を一切果たせないから、プルーヤーになり得ない。

安倍首相は、日本人拉致問題についてトランプ氏に協力を懇願した。日本がもし、GDP(国内総生産)で半分程度しかない英国がフランス並みの軍備を整備していたら、北朝鮮にもむむむ国民を拉致されることはなかった。つまり拉致被害者は、日本国憲法の被害者なのだ。日本全国が日米首脳会談に一喜一憂するのは情けない。「平和憲法」によって、米国に甘えて、国家の独立を依存しているからだ。

H30-4-27 日本を叩く②
正恩は絶対に核兵器を手放さない

常夏の米フロリダ州にある竜宮城のようなドナルド・トランプ大統領の別荘「マールアラゴ」で、2日間にわたった日米首脳会談(17、18日)が終わった。何といっても、6月初旬までに予定されている、「世紀のシヨウ」である米朝首脳会談こそ、最大のテーマだった。安倍晋三首相とトランプ氏は、日米両国がかねてから合意してきた、北朝鮮に「核・弾道ミサイルの、完全な検証可能、不可逆的な廃棄を求める」ことを再確認した。さらに、トランプ氏は会談後の共同記者会見で、拉致問題について「最善を尽くす」ことを力強く約束した。だが、日本が拉致問題について、まったく無力であるのは情けない。会談の首尾は、上々だったと思う。2日目は、貿易問題を取り上げた。

トランプ氏が強面(こわもて)をつくらせて、日本に譲歩を迫った。日本は重い宿題を背負わされたが、安倍首相はその場をはぐらかして、うまくさばいた。両首脳の会談の冒頭で通訳を交えて、55分間、差して話した。通訳が半分26分を費やすから、2人が同じ時間話したとすると、13分ずつになる。安倍首相はその間に、一筋縄ではいかないトランプ氏と、呼吸を合わせる事ができた。歴代の首相のなかで、誰よりも外交経験を積んでいるだけでなく、天性の猛獣いや、外国人使いだ。

日本にとって刻々と暗雲が募る朝鮮半島危機と比べれば、森友学園をめぐる決裁文書改竄(かいざん)問題や、財務省高官のセクハラ疑惑、県知事の「買春」問題や、貿易問題は小さな問題でしかない。もし、朝鮮半島が火を吐けば、日本で数千人、数万人の死者が生じよう。北

朝鮮がすでに小型化した核弾頭を完成していれば、日本が再び被爆国となる可能性がある。北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)朝鮮労働党委員長が、核兵器を手放すことは、絶対にあり得ない。仮に、米朝首脳会談が実現して不調に終わるか、北朝鮮が非核化に応じることがないと判断して、首脳会談が行われなかった場合に、トランプ政権が北朝鮮に軍事攻撃を加えることになるのだろうか？

正恩氏は「北朝鮮の非核化」ではなく、「朝鮮半島の非核化」を「段階的に」ゆっくり時間をかけて進めて、段階ごとに米国、日韓から、ご褒美をせしめようとしているが、米国はその手に乗らない。そうすると、これからどうなるだろうか。

H30-4-28 日本を叩く③
米朝会談決裂なら海上封鎖か

金正恩委員長は、偉大な祖父と父も手が届かなかった米朝首脳会談が、ほとんど自分の力によって実現することになり、自己陶醉に浸っている。6、7週間以内に、全世界のきらめく脚光を浴びるなかで、トランプ大統領と膝を交えて、向い合うことができるのだが同時に、情緒不安定で、政治の初心者であるはずのトランプ大統領を、もし操るのに失敗したら、アメリカから圧倒的な軍事力による攻撃を蒙って、全てを失うことになるのに、

《3頁3段目に続く》

RADIIIPS・HINOMARU

RADWIMPS 『HINOMARU』

作詞・作曲 Yojiro Noda

風にたなびくあの旗に 古よりはため
く旗に意味もなく懐かしくなり こみ
上げるこの気持ちはなに 胸に手をあ
て見上げれば 高鳴る血誇り高くこの
身体に流れゆくは 気高きこの御国の
御霊 さあいざゆかん 日出づる国の
御名の下に どれだけ強き風吹けど遙
か高き波がくれど 僕らの燃ゆる御霊は
挫けなどしない 胸にやさしき母の声
背中に強き父の教え 受け継がれし歴
史を手に 恐れるものがあるだろうか
ひと時とて忘れやしない 帰るべきあ
なたのことを たとえこの身が減ぶと
て 幾々千代に さあ咲き誇れ さあ
いざゆかん 守るべきものが 今があ
る どれだけ強き風吹けど 遙か高き
波がくれど 僕らの沸 (たぎ) る決意
は 揺らぎなどしない どれだけ強き
風吹けど 遙か高き波がくれど 僕ら
の燃ゆる御霊は 挫けなどしない 胸
にやさしき母の声 背中に強き父の教
え受け継がれし歴史を手に恐れるもの
があるだろうか ひと時とて忘れやし
ない 帰るべきあなたのことを たと
えこの身が減ぶとて 幾々 千代に
さあ咲き誇れ さあいざゆかん 守る
べきものが 今はある どれだけ強き
風吹けど 遙か高き波がくれど 僕ら
の沸 (たぎ) る決意は 揺らぎなどし
ない どれだけ強き風吹けど 遙か高
き波がくれど 僕らの燃ゆる御霊は
挫けなどしない 僕らの沸 (たぎ) る

決意は 揺らぎなどしない

6-16 宝塚 森田章彦

左翼調子乗り過ぎ いい歌詞です！
曲もいい！ 何故 謝る？ 北朝鮮よ
核を日本に打ってこい開戦じゃ！
開戦しないと目を覚まさない日本人
朝鮮人に乗っ取られますよ！！！！！

6-16 東京 西村幸祐

何の問題もない普通の歌詞です。恐ろ
しいのは、この歌に文句をつける反日サ
ヨクというより反日ファシストの跳梁
跋扈です。ただの左翼でなくファシスト
です。

若い世代で「リベナチ」という言葉を
使う人も現れました。リベラルを装っ
たチズムです。日本の言語空間は、今、シ
バキ隊をフロントとするこれら反日フ
アシスト勢力の制圧下に置かれたこと
が、このことです。ファシストがどう騒
ぐことも、ネットチャート1位になっていま
す。

6-17 神奈川 木上和高

普段、言論・表現の自由を振りかざす
朝日新聞は「RADWIMPS新曲が投げ
かける愛国」と題した6月14日の記事
で、歴史学者の意見として「今回のこの
ような愛国歌はナシヨナリズムを刺激
しやすい。」

テロや外交問題と結びついて
排外主義的な動きにつながりかねず、注
意も必要だ「などととんでもないこと
を言わせています。」

《↓2頁末尾より続く》

戦(おのの) いていよう。
一方、トランプ大統領にこつても、
大きな賭けた。会談を行っても北朝鮮
を非核化する成算がないと判断した
場合には、取りやめるといっている。

トランプ大統領は首脳会談を行って、
目論見が大きく外れて会場を去る時
に、世界の物笑いにならないように、
どのように振る舞えばよいものか、頭
を悩ませていよう。“リトル・ロケッ
トマン”と名付けた金委員長に、位負
けるわけにゆかない。

トランプ大統領は米朝首脳会談が物
別れに終わって、面子を潰された後に
北朝鮮に対してただ経済制裁による
締め付けを強めるだけでは、米朝首脳
会談が、笑い草の軽拳、にすぎなかつ
たことになる。だが、私はアメリカが
北朝鮮に軍事攻撃を加えることは、あ
りえないと思う。トランプ大統領は北
朝鮮を攻撃した場合に、韓国、日本が
蒙る被害が、あまりにも大きいために、
攻撃する勇気を欠いていよう。

私はアメリカの友人に会うと、「アメ
リカの国旗を白頭鷲から、チキンに替
えたほうがよいのではないかと、か
らかっている。それに、トランプ大
統領はオバマ政権にいたるまで、アフ
ガニスタンから中東まで、外征戦争に
深入りしたのに終止符を打って、米軍
を引き揚げた大統領として、輝やか
しいガシーをのこすことを、夢見てい
る。といって、トランプ大統領は手
を拱(こまね) いているわけに、ゆかな
い。それでは、沽券(こけん) にかか
わるから、何か、劇的なこと”を行わ
なければならぬ。私は米海空軍を

使って海上封鎖を実施することを、発
表することになると思う。その場
合、海空自衛隊が現行の安保法制に従
って、後方支援に留まるとしたら、日
米同盟関係が崩壊してしまつこと
なる。日本の前途に、大きな試練が
待っている。

130-4-28 広島 奥中正之

米朝首脳会談の行方を大胆に予測す
れば、1. トランプ大統領が会談をキ
ャンセルする。2. 北朝鮮に有利な方
向で結論が出される。但し米国民に
対しては、トランプ大統領の人気が落
ちないように上手くカムフラージュ
された合意文書になるでしょう。3.
トランプ大統領が席を蹴る。この可能
性は少ないと見るのですが、シンガポ
ールかどこか分かりますが、この
こと出かけて行って、そんなぶざまな
ことは出来ません。それならば、トラ
ンプ大統領は、前記1. を選択するの
では。

130-6-25 事務局 増木重夫

米朝会談後、世界はどう動きつつあ
るか。結局米露中の利権争いでしょ。
いかにこのドサクサに乗じて自国の
利益を確保するか。米ファーストであ
り、露ファーストであり、中ファース
トです。当たり前のことです。米国は
北に拉致の話をしてくれた。これはお
財布係りと一対の物、「北と話しした
から、お金の方はよろしく。」と言
うことですよ。お声掛けをした程度でお
金を出す必要あるの？結局仲間はす
れ。理由は簡単。一人前の国家でない
からです。憲法改正です。

各位。各団体等からの報告。ご意見

職員会議って、子供の命より重いのか？
 H30-6-19 大阪みき子 Y

昨日の地震。。。三男(中一)が学校に登校する前に起こった。登校させるかどうか考えたけど、中学校が避難所になっている事もあってとりあえず登校させた。この辺り(大阪市南東部)は大した被害もなかったのに、学校には全員が登校して欲しい。この判断が正しかったどうかはわからないが、今回の学校の対応はどうかと思う。

6時20分に吉村市長が「大阪市内の学校は休講」とSNSに投稿された。ところがその5分前に学校から『通常通り授業しています。』とメールが届いた。三男が言うには。。。3時間が目に緊急の職員会議が開かれたらしく、先生方は全員職員室へ。この時点で教室には子供達だけ。

吉村市長が「登下校の際に注意事項」という指示を出しているにもかかわらず、集団下校はしたものの、先生から安全確保について何にも説明されていないらしい。学校から「通常授業」というメール(6:15)が来たから、安心して仕事に行かれた方もいた。1時間目の時点で、吉村市長から指示が出てくるにもかかわらず、職員会議が1時間目。教室に子供だけ残す。。。お昼前の11時59分に学校から『臨時休業、

給食後に下校します。』というメール。突然の下校メールに慌てる保護者。吉村市長がせっかくなのでSNSや記者会見で指示を出して下さっているのに、全然いかされてない教育現場。学校まじで危機感なさすぎ!! みき子・Y

余震がいつ起こるかわからない状況で、子供達だけを教室に残すとは呆れる。熊本地震などを見ると本震以上の余震もあり得る。震度4.5の余震が有り得るわけだ。

3時間目に職員会議と言ったが、どうして職員会議を開く必要があるのか。どうするかは校長が判断したらいいけど、仮に会議をしたとしてもせいぜい校長と教頭、学年主任数人もいれば十分ではないか。未だに「職員会議」が学校の指揮、命令の最高議決機関なのか。と、疑わざるを得ない。 増木

公立学校施設の耐震化と子どもの心のケアについて 川西市長へ要望書
 H30-6-19 川西市 中曾千鶴子

皆様もご自身の市町村にぜひ要望をいただければと思います。
 私は川西市長あてに
 ①子どもたちの心のケアにつとめてください
 ②学校の耐震化対象の校舎だけでなく全施設の再点検、登下校路の再点検を早急にお願いたします。
 と、要望書を出しました。

吉村洋文
 6月18日 9:20 · Twitter · 239
 コメント3件 · シェア23件
 いいね! コメントする シェア



今朝、大きな地震がありました。安全確認を行いました。何も異常もなく、けが人もいない状況なので、通常通り授業を行っています。



大阪市教育委員会の指示により、本日は臨時休業になりましたので、本日は、給食終了後下校します。

茶番劇に終始した米朝会談
 H30-6-18 政経調査会 植泰智

6月12日にシンガポールで実施された米朝首脳会談はとんだ茶番劇であった。当初から半ば予想していた通りであったが、今までお互いを「老いぼれ」とか、「病気の予犬」などあらゆる言辞を用いて罵倒しあっていた二人が、こうまでも手のひらを返したように瞬時にして仲良くなれるのか。やはり変節漢の真骨頂と言えるだろうか。

「この空虚なる共同声明はトランプ大統領としては当初から折り込み済み。朝鮮半島の非核化を目指すなど4項目の取り決めについては語尾において約束する。努力する。約束する。約束する、とあるように具体的なプログラムは全く示されていない。が、これでよいのだ。トランプ大統領としては「史上初の米朝首脳会談を実現させて大統領」、この光栄なる経歴を得たことで満足できる内容だった。

安倍首相が頼んでおいた拉致問題の解決なんか本気で話し合う意思がないことは明白だ。1年3ヶ月に渡り拘束され意識不明の状態で解放されて死亡した22歳のアメリカ人、オットー・ワームピア青年の問題についてさえなんら言及しない。どのような経緯でボツリ又ス菌感染があったのか責任の所在は誰にあるのか、処罰したのかなど問いたですべき要素は多岐にわたるものであり、首脳会談でなく

とも次官級協議でも相上に上げられるべきではないのか。であるから、トランプ大統領において日本人拉致に関し本気で解決する意思がある訳がない。

いままでのアメリカであれば戦場に取り残されたたった一人の米兵に対しても救出のために奇襲部隊を編成するなど全力で立ち向かった。トランプ大統領は商人であるから国の名誉とか人権・人道主義といったものに興味を示さないであろう。

早くも北朝鮮の海岸にリゾートホテルを建設する計画を持ち出したとか、金儲けのための和平交渉にすぎないのだから期待するほつがおかしいのである。

~~~~~

拉致問題は日朝の問題。米国に頼るのは筋が違つ。トランプは「拉致のこと、日本が返せと言つてると言つておいたよ。」これで十分だと思つけど。

マスキ

## 学生は正義を守れ

H30-6-15 東京 三澤 廣

日大のアメフト部が、卑劣な手を使ったということ、叩かれていきます。「日大生は立ち上げれ」と鼓舞する声も上がっています。

「自分の大学がこんな恥ずかしいことをしているのに、何も言わないのか」と日大の一般学生を非難する投稿も読みました。日大は経営陣に体育会関係者が異様に多く、知性の府の組織として、非常に問題がありますから、その

改革を要求するのは当然のことです。しかし、そういうつながりの目立たない他の大学だったら、一運動部が問題を起したからと言って、他の学生が恥ずかしいと思わなければならない理窟はないと思うのです。それよりももっと問題なのは、去年の一橋大学です。

言論の自由の一つのテーゼに僕は君の意見には反対だ。しかし、君の意見発表の自由を、僕は命をかけて守る。(ウオルテール)という有名な言葉があります。若者にこの言葉を教えてやると、みんな感動してくれます。しかし、現実の事件に遭遇すると、「命をかける」以前に、その現象がこのテーゼに反していることに気づかないのです。

百田尚樹氏が「橋大学の学生団体の主催で、学内で講演をしようとした所、学内の左翼勢力が、氏が「差別発言」の常習者だということ、大キャンペーンを張つて、講演を阻止しようとし、ついに講演中止に追い込みました。この事件こそ、まさしく近來まれに見る、表現の自由が侵された典型なのですが、マスコミは取り上げようとしません。新聞では産経以外は全く無視。テレビでも報道しませんから、この事件そのものを知らない人が多いのです。しかし、政治に関心ある若者がこんな大事件を「知らない」というのは、左翼用語を使つていふならば、「犯罪的無知」なのではないでしょうか。特に一橋大学は、日本有数の知的水準の高い大学です。その学生たちがどうしてこの不正に対して立ち上がらなかつたのでしょうか。反対派グループは暴力に訴えることを仄めかして恫喝したと言いますから、主催者側の学生たちが恐れをなして中止にしたこと

は、責められるべきことではないでしょう。現実に傷害事件に発展する可能性も予見できたのですから。しかし、一般学生はどうして看過していたのでしょうか。

朝日新聞のかつての報道によると、九州島の男たちは、娘が、妹が、恋人が、日本軍に強制連行されるのを指をくわえて見ていたそうです。朝日がそれらの記事を取り消したことによって、その冤罪は晴れました。取り消し特集によって、一番名誉を回復したのは、日本軍ではなく、九州島の男たちだったのです。一橋の一般学生の不名誉は、朝日の描いた異次元宇宙の非現実の九州島の男たちの恥辱に匹敵するものがあります。このままでは、名誉は回復されません。小林よしの氏は、「真の言論弾圧とは、権力が民間人の言論を弾圧すること」を言つ。民間人の批判や圧力で、講演会が中止に追い込まれる場合は、主催した奴らが腰抜けだったということに過ぎない」と言っています。しかし、我々は、「言論弾圧」の定義を問うていられるではありません。一橋大内部の左翼勢力の行為が言論弾圧に該当するかどうかは問題ではなく、「言論の自由の観点から見ると、許されるべきか」を問うていられるのです。小林氏は「主催者側が腰抜け」と言つていまして、問題にすべき事件ではないと言つているのでしょうか。しかし、「批判や圧力」だけではなく、「暴力的恫喝」が含まれていたことを無視しているのはどうしてでしょうか。主催者側は、一般学生への被害を考慮して中止したので、から、「腰抜け」という批判は当たりません。しかし、逆に「腰抜け」と非難されるべきは、一般学生なのです。

旧制高校の時代には、文部省や学校や

右翼勢力の恫喝に抵抗して戦つた学生が少なくありませんでした。そのために退学して、将来を棒に振つた者もいました。この昨年の事件は、根柢に暴力がありますから、公然と声を挙げることが難しいと思います。学校内部で、マイクを使って訴えたりすれば、身の危険を感じなければなりません。い、も、どうして、匿名で「一橋の学生ですが」と名乗って、訴えることができなかったのでしょうか。インタネットで検索するのはその簡単ではありませんから、あるいは私が見落しているのかも知れませんが、雑誌などに、どうして投稿しないのですか。

知人の心理学者によると、「学内で無言を通したのに、匿名で投稿などをするのは卑劣だ」という自虐論法に陥つてしまつたことがある「そうです。しかし、ついに何もしないで終わつてしまつたよりは、できる範囲で抵抗することの方が、卑劣さのレベルははるかに低いのではないのでしょうか。この事件は異様な言論弾圧の始まりです。これから左からの攻撃によってどんどん表現の自由が侵される時代が来るのではないのでしょうか。そして、右からの攻撃も始まるでしょう。現に、去年のうちに櫻井誠氏の講演と香山リカ氏の講演が一つずつ潰されてしまいました。一橋と聞くと、素晴らしい一流大学だと誰もが思います。その大学の学生が言論の自由を守るために立ち上がるべきでなかったのです。剩え、教員数十人も弾圧する方に加担する署名をしたそうです。

一橋大生に訊きたいのです。本当にこのままでいいのですか。

# 安倍首相提案憲法改正の問題点

1300-6 千葉 近藤将允

## 安倍首相提案憲法改正の問題点

「自衛隊を現在の形のまま憲法に明記」という安倍首相の案について少し考察を加えたい。私は安倍首相の憲法にかける思いに嘘はないと信じている。何故なら第一次安倍内閣で安倍首相は以下のことを達成した。

1. 防衛庁を省に格上げした。国家の安全を所掌する組織を二義的な官庁にしている国は日本以外世界に無かった。
  2. 自民党の党是である憲法改正の実施に不可欠な「国民投票法」を制定した。
- 党是と言いつつながら歴代政権が60年近く放置していた案件である。更に安倍首相は憲法改正について一貫して明言し、党総裁としての案まで提言している。これも歴代自民党政権の首相では唯一の存在である。

そのような安倍首相だが、「自衛隊を現在の形のまま憲法に明記する」という提案には致命的欠陥があり、反対である。その理由は少々長くなるが、以下に記述する。

1. 神学論争は終焉しない。首相は憲法に自衛隊を明記すれば自衛隊違憲論は終焉すると信じているようである。
- 憲法を改正する以上、戦後この方長く続いてきた自衛隊合憲・違憲の不毛の

論争に終止符が打たれなければならぬことは論を俟たない。

しかし安倍首相には気の毒だが、違憲論争は決して収まらぬ。理由は簡単である。

「現在の形のまま」ということは9条2項をそのまま残すということである。護憲派学者は9条2項を金科玉条にしているから、自衛隊を憲法に明記しようがしまいが関係なく違憲というのは必定である。首相の認識自体が非常に甘いと思っている。もっとも自衛隊現役時代、司令官クラスであったOBの中にも首相提案を受け入れている者がいるようであるから、首相ばかりを責められない。自衛官OBである私も、9条2項を素直に読めば自衛隊は憲法違反の存在であると言わざるを得ない。

2. 「現在の形のまま」というのはどういうことか

「現在の形のまま」というのは、国民全員に適用される一般の法律を自衛隊の運用にも適用するということである。それは何を意味し、世界の軍隊の運用と何が違うのかについて考えを巡らさなければならぬ。これは国家・国民の命運に直結する問題だからである。一般行政法の適用を受けるということとは、自衛隊法を始め関連の法律に書かれていること以外の行動を自衛隊はとれないということである。俗にいう「ホジティヴリスト方式」で戦争をするということ。これでは防衛出動下での本格的戦争になつた場合、種々の制約「よりの国家・国民を守れない。六法全書を抱えて戦争。戦闘はできない。状況によっては同盟国の軍隊と連携しての戦闘時に、齟齬を来す恐れがある。」

これに対して世界の軍隊は、戦時国際法で禁止されている事項に関しては制約を受けるが、その他は自由である。つまり「ネガティブリスト方式」といわれるもので、一般法とは別個の軍法で規定され運用されている。これが世界の常識である。また軍人の犯罪も一般の裁判所ではなく軍法会議で裁かれる。一口で言えば日本以外の世界の軍隊は戦時国際法の枠内で行動している。それでなくとも戦争など出来ないし、国家・国民を守れない。このように「現在の形のまま」というのは、上述した国際常識から外れた異形の、しかも運用上瑕疵を抱えた自衛隊をそのまま憲法に記述するということに他ならない。

3. 9条再改定の困難生起

我が国における憲法改正は、制度的にも国民心理上からも非常にハードルが高い。さらに改正項目も9条だけに止まらないし、自民党以外に改正項目を挙げている他党（日本維新の会）もない。9条に関して仮に首相提案の改正案で発議され国民投票の結果成立したと仮定して、その後、フルスペックの軍隊保持の必要性に迫られ9条再改正を提案しても、国会における取扱いの優先順位は低く抑えられ、最悪用途が立たない状況になる恐れがある。国際情勢は流動的で待たないで済む。

前2項で述べた運用上の問題を内包した自衛隊で対応せざるを得ない。ただひたすら平和を祈るばかりとなる。

「現在の形のまま」という中途半端でかつ対症療法的措置は、将来に禍根を残す可能性があるかと恐れている。

4. 9条改正の根本は2項削除にある。陸海空軍その他の戦力は保持しない。交戦権はこれを認めない。ここには主権国家の姿は微塵も見られない。

しかし現憲法誕生の忌まわしい歴史を想起すれば、ある意味2項の文言は正当である。

ただそれは戦勝国側にとつての正当性であつて、日本国・日本国民にとつては不当極まりないものであり決して正当性を持ちえないのである。

昭和27年4月我が国は、政治的には主権を回復したが、2項温存の憲法を保持し、なおかつ前文で「平和を愛する諸国民に自分たちの命をお任せしよう」と決意したまま無為に時は流れ、憲法は国民に定着している。平和は現憲法のお蔭というに及んでは、到底憲法上の主権が回復されたとは言えないのではないか。

5. 憲法改正は9条に止まらない

(1). 76条2項の改正  
9条2項削除と同時並行して76条2項を改正しなくては軍法会議を設置できない。自衛隊を国際標準並みのフルスペックの軍隊にするのであれば、76条2項も改正しなければ整合性が取れない。

- (2). 「前文」の抜本的改正

憲法制定を決定した明治政府は、後に初代首相となる伊藤博文に調査を命じ、伊藤はオーストリアの法学者シュ

タインと面会し彼の言葉に衝撃を受けた。「本国の事実を知らずしてこれを他国に求めんとするものは、その研究の基礎を欠くものなり」「憲法は法文ではなく、その国の精神である」という歴史法学の理念だった。「国のかたち」と訳すとイメージしやすい(産経新聞 明治150年から抜粋)

現行憲法の前文には、日本国・国民の気高き精神の片鱗も見受けられない。情けないが戦勝国から配給された憲法とはこういうものである。しかもっと情けないのは、戦勝国側の悪意ある精神に彩られた憲法を政治的に独立を回復したにも拘らず、2世代強にわたって「奉戴」し続けてきたことである。かくして憲法は不磨の大典となった。

6. 9条2項の削除は現実的ではないという憲法改正上の精神風土

(1) 戦後民主主義がつくり上げた風土、9条2項削除を明言している政治家は、石破茂氏ただ一人である。

自民党憲法改正推進本部も9条2項改正に言及していない。元将官であった自衛隊OBすら全てとは言わないが、現実的ではないとの立場をとっている者もいる。公教育で子供のころから現行憲法は平和憲法で素晴らしいと教わり、長じてテレビや新聞などのメディアの風に吹かれいよいよその思いを強くしている国民は、政治家や国家官僚など日本のリーダーたちを始め各界各層に多く存在している。かかる風土では、西修駒澤大学名誉教授の「平和条項を持つ憲法は世界に150ある、日本だけが特別ではない」という声も国民に届かないであろうし、古くはイザヤ・ペンダさんが「日本人は水と安全はただと思っていると言ってもどこ吹く風のままとなった。」

最近の安保法制改定時の騒動を見ても分かるが、およそ安全保障にかかわるテーマは国会や世論を二分する騒動になるのが戦後の定番であった。

従って憲法改正ともなれば大騒動になるとの推測は正しいと言つてよい。しかし政府・自民党を筆頭に今は現実的ではないという立場の人々は、何をもちて現実的ではないと言つのかを明言していないので断定的なことは言えないが、多分この項で取り上げた現下の社会の状況・風土を指してそう言っているであろう。

そつたとすると国家の命運にかかわる2項削除の問題について、ただ単に「現実的ではない」という言葉で括り終わりにするのは余りにも無責任に過ぎないか。

(2) では、いつだったら9条2項削除の憲法改正が現実性を帯びるのか

今は現実的ではないという立場の者は、いつだったらそれは可能性があるのか、数年後かまたは10年後か、そしてそれはいかなる理由により現実的になるのかを、国民に示さなければならぬ。残念ながらそのことを明確に示した人を寡聞にして知らない。

今日これほど憲法改正を困難にした理由は、第一義的には(1)項で述べた「戦後民主主義」であるが、それに勝るとも劣らない大きな理由は、その「戦後民主主義」に改革のメスを入れることなく、また憲法改正を党是と言いつながら無為無策に過ごした自民政権と、それを許した国民の存在である。

つまり言いかたを変えるならば、無為に流れた70年という歳月こそが改正をこれほど困難にしている元凶なのである。ならば「現実的ではない」として先送りするのは、歳月を更に重ねるといふことで何の意味もないし、改正が現実的になる先行きが見えないことを考慮すると最悪の選択というほかはない。

国会の「モリカケ」論争は最低ではあるが、極論すれば純粋な国内問題に過ぎない。しかし憲法問題、特に9条改正は国内問題であると同時に、日本の安全をどう担保するかという意味で相手のあつた話でもある。国難と言つてもよいほどの戦後最悪の安全保障環境下での先送り論は、憲法改正を更に困難にするばかりではない。

日本に悪意ある国々が、待つてくれると信じ得る何物も見いだせない。当たり前ではないか。ならば今テレビでの流行語風に言えば、9条改正は、「今でしょー」とならなければならぬ。

7. 改憲派は護憲派とガチンコ勝負を覚悟せよ

私は60年安保時大学生で現在80歳である。60年安保時の騒動のすさまじさを肌感覚で知っているのは、ざっくり言えば現在70代後半以上の世代であらう。岸内閣の閣議で自衛隊の治安出動が要請された。当時の防衛庁長官であった赤城宗徳氏の反対で事なきを得たが、日米安保改定という国内問題で治安出動が閣議で議論されたのは、後にも先にも唯一60年安保騒動時のみである。当時の写真を見れば分かるが国会は十数万人ものデモ隊に十重二十重に囲まれ、官邸か公邸にいた岸総理と弟の佐藤

栄作氏に、身の安全が保障できないから移動して欲しいと機動隊の要請があったと言われている。しかし岸首相は断固として日米安保改定を実行し政権を去った。そこに政治家として国の将来を見据えた岸氏の覚悟が見てとれる。

当時は米ソ冷戦時代で米国の核の傘が今以上に機能し、中国の我が国に対する脅威レベルも低く、今と違って北朝鮮は核を保持していない。

米ソの核を背景にしてはいるものの、日本を取り巻く安全保障環境は現在よりもずっと穏やかで安定した平和な時代であった。その時代の岸首相の決断による60年安保改定の遺産の上で、いまの日米同盟の絆が保たれ、日本の安全が担保されているのである。それから60年弱が経過し当時あまり見られなかったテロも横行し、国際情勢は遙かに厳しくなっている。そのような現状を目の当たりにしながら、「今は現実的ではない」という発想それ自体が現実的ではないと思つている。

話は急に変わるが英国はICJを離脱した。その結果が吉となるか凶となるかは歴史の審判によるが、賛否いずれの国民も国の将来を選択する覚悟を問われたと思つている。結果は自己責任である。憲法改正とテーマは違つが、英国人に出来て日本人に出来ないことはない。あの60年安保を乗り切つた日本人に出来ないことはない。

先に「憲法は法文ではなく、その国の精神である」というシユタインの言葉引用した。この列島に世界最古の

《次頁3段目に続く》

# 杉田謙一の歴史。歴史研究家

## 尊厳の叫び

<https://plaza.rakuten.co.jp/seimeisugita>

ひびく最悪の言論弾圧集団  
2018.06.04

反対派へのレッテル張りをなして言論の自由を奪う「ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク」なる団体が討論会の実力阻止を呼びかけこれを実行したと産経新聞が報じた。表現の自由を保障する現代社会の法秩序を根底から揺さぶる大事件であろう。

神奈川県警機動隊は現場で警戒したものの、押しかけた講演会反対派が出入口周辺に座り込むなどし、講演会参加者が入館するスペースを確保することができなかった。何たる失態。県警機動隊が結果、言論の自由の実力で対行動をなす勢力の排除ができない等考えられない事態ではないか。

実力抗議側の発言が載っている。在日3世の崔江以子(チエ・カンシジャ)さん(44)は「延期という結果を勝ち取った。今後は市がガイドラインを正しく運用してほしい」と話した。

抗議に参加を表明していた有田芳生参院議員(のり)は「ファシストが民衆に追いやられるシーンを思い起こさせます。(中略)暑いなか、お疲れ様でした」とツイートした。参議院議員に守られ言論弾圧を実力行使する勢力に日本人は良識の発揮をしなくては。

講演するはずだった徳永信一弁護士は「ヘイト規制が表現の自由に対する重大な侵害だ。いついこう形で議論を阻止されては何も生まれない」と訴えた。本当に重要な指摘ではないか。言論弾圧グループを支援激励する国会議員は言論の府にありながら言論弾圧を容認激励するとは何たる矛盾。これは主義主張の是非以前の問題。現憲法ですらうたう「言論の自由」に対する重大なる挑戦である。法治国家に対する危険なる行為に対し良識ある市民は声をあげねばならないのです。

### 2018.6.3 20:15 サンケイ

「反ヘイト条例は是か非か」討論会が反対派の抗議で中止 講演の弁護士ら、会場に入れず

ヘイトスピーチ対策法施行から2年となる3日、川崎市川崎区の川崎市教育文化会館で3日に開催する予定だった市民団体「ヘイトスピーチを考える会」主催の講演会が、会館前に押しかけた反対派市民団体の関係者らにぶさがれ、考える会は集会を延期した。

主催者の実質的な代表が右派団体「日本第一党最高顧問を務める瀬戸弘幸氏(66)であることから、市民団体「ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク」を中心に反発、講演会の中止を呼びかけていた。

集会は「反ヘイト条例は是か非か」と

《次頁文頭へ続く》

### 《前頁末尾よ》

王朝を戴きつつ2600余年の歴史を紡いできた先人からの誇りある精神が横溢する憲法の制定を迫られている。我々に欠落しているのは何か。悪意ある意図を秘めた戦勝国の配給憲法を護持していることへの「屈辱感」の無さ、日本国の精神が破壊されたままの憲法で国を運用することは許さないと日本として「矜持」の欠落であろう。憲法改正が盛り上がるに現状と、その環境下で9条の抜本的改正を強行した時の騒動を懸念しての「先送り」であろうが、結局それは単なる現状逃避に過ぎない。

### 8. 終わりに

憲法改正は国民投票で決まる。

護憲派は9条の会の活動に見られるように、国民のあらゆる階層に深く静かに潜入し改憲反対を訴えている。翻って改憲派はどうであろうか。私も会員として協力した日本会議の署名運動はあるが、肝心の自民党が立党以来、党是である憲法改正とりわけ9条改正の必要性を直接国民に訴えてきたという記憶が無い。自民党は憲法改正を党是としている。それを承知で自民党の議員になったからには議員挙げて、憲法改正は焦眉の急である。

就中9条2項では国民の安全を守れないと、街頭に出て率直に国民に訴えるべきである。街宣は何も選挙の時ばかりではない。幸か不幸か、自民党に敵しい現在の政治状況で憲法改正の発議は先送りになった。これを奇貨として国民への啓蒙運動を推進するべきである。

平成28年8月、「憲法改正は二段構え」というタイトルの論文を書き、当時自民党の憲法改正推進部長であった森英介衆議院議員(面会して、憲法改正の推進をお願いしてきた。二段構えというのは、国民投票を意識して先ずは国民への啓蒙運動の必要性を説いたものである。昨年は山田宏参議院議員、青山繁晴参議院議員に同様の資料を渡し、検討をお願いした。もし自民党議員の啓蒙運動が国民に広く浸透すれば、護憲派の過激な運動に対する輿論の批判の高まりも期待され、国民投票への勝利の展望も開かれると期待している。

戦後最大の安保騒動であったの0年安保を想起して欲しい。繰り返しになるが、現在の安保環境は当時よりもはるかに厳しく、国家存立の危機に迫られていると言っても過言ではない。現状に臆して何も行動しなければ、何も生まれない。ことは国家の安危に関わる問題である。日本国の精神に溢れた前文と条文で構成された日本人の手による、9条2項 削除を含む憲法改正に向け、政府・自民党更には各界のリーダーである有識者たち、そして改憲派の国民は、一歩踏み出すときと思っている。日本人の覚悟やいかに。

安倍さんは自衛隊を変えたい。しかし自分から言い出すと憲法改正が吹っ飛び。その葛藤。そこで、国民からの「自衛隊の在り方を考えよう」という声を待って、物語を運ぼうとしている。やるネー！

近藤翁、安倍さんの声が聞こえたのかな・・・。 マスキ

《↓前頁の段目末尾より↓》  
 いう題で政策討論会を開く予定だったが、数日前から対レイシスト行動集団(前身は「レイシストをしばき隊」)がツイッターなどで「ヘイト集会を許すな」などとして、中止に追い込むよう宣言し、集結を呼びかけていた。

講演するはずだった徳永信一弁護士は「ヘイト規制が表現の自由に対する重大な侵害だ。こういう形で議論を阻止されては何も生まれない」と訴えた。

~~~~~  
 2018.6.3.2015 サンケイ
 徳永信一弁護士のコメント

当日用意していた講演は「ヘイトスピーチと憲法問題」というタイトルで、結構、学術的な内容のものでした。まず、ヘイトスピーチ規制の出発点として人種差別撤廃条約と差別的言動解消法の解説からはじまり、アメリカのスコキー村事件の連邦最高裁判決を分析して、そこで表現の自由がどのような基準で機能し、スコキー村の規制条例を違憲としたかを解説し、そのうえで、日本のヘイトスピーチ規制が抱えている問題を、集会の自由における川崎市のガイドラインの問題と、ネット表現における匿名表現の自由の侵害のおそれのある大阪市ヘイトスピーチ規制条例の憲法問題について解説するという建て付けとし、集会の自由の制約については、泉佐野公民館事件の最高裁判決が示した枠組みを示すことで、川崎市のガイドラインの問題点を浮かび上げさせ、匿名表現の自由については、アメリカの連邦最高裁判決の判示を示し、匿名表現の自由がインターネ

ットの表現を活発化させた重要な要素であることに照らし、憲法学者らは、濫用の危険よりも、ネットの可能性発信者としての地位を獲得した市民を重視する傾向にあることを論じ、実際の問題では、その定義の曖昧さから、ヘイトスピーチは政治的言論と重なりあうが、それが人種差別を目的としてなされたものか、それとも政治的主張を目的とするものなのかを区別するところで、法的評価が定まるという現実のなかで、どのような間接事実が重視されるかということ論じ、ヘイトスピーチ規制による表現の自由の萎縮をどのように回避していくかという実践課題について解説するつもりでした。公民館に入館しようとする私に向かって、「レイシストは帰れ」「ヘイトスピーチはやめろ」と連呼して押し返す集団に対し、「今日は、お勉強のためにきた。ヘイトスピーチをしにきたのではない」。俺がいつヘイトスピーチをしたのか。差別をしたのか。今日は講演をしにきたのだ」と論じても、目尻を決し、憎悪丸出しで迫ってくる連中には全く通じませんでした。一部始終はビデオに撮っており、威力業務妨害罪で被害届を提出しました。

勤労感謝の教育再構築を

2018.06.21

産経が報じた

「苦勞したくない」34・1%、「人並みで十分」61・6% ともに過去最高、働く意識低下か 新入社員意識調査 好んで苦勞したくはなく、人並みで十

分。そう考える新入社員が過去最多に上ることが、日本生産性本部が21日公表した「働くことの意識調査」で分かった。調査は昭和44年度から始まり、今年で50回目。今国会では働き方改革が最重要課題となっており長時間労働の是正が目指されているが、新入社員の働く意識自体が低くなっているか危惧されている。調査は今春入社した社員1644人を対象に無記名で実施。「若いうちは進んで苦勞すべきか」という質問では平成23年度から「好んで苦勞することはない」が増え続け、今年度で過去最高の34・1%になった。逆に「進んで苦勞すべきだ」はこの間、20ポイント以上も減っている。――後略――。

何が変わったのか。昨今は週休2日の定着などによる労働時間の激減もある。赤字国債がゼロの時代がかつてあったが。今は国債発行は当たり前となり、厚い社会福祉の実施が実現もしている。資産家老人の増大などにより、働かずとも支援を受けることが容易になる。

少なくとも死なないうで済む時代になってきている。少子化が人類史上最速のスピードで押し寄せた。家で子ども子供の養育費はさほどかからずすむ。子供が少ないため、手厚い愛情が若き世代に注がれ、親族との付き合いも少なく一家を支えるとの意識も希薄となり、現実には可処分所得は増大しているのだからか。

不景気になれば自然と青年はしっかりとるようになると思われた時代がかつてあった。しかし今は違う。厳しくなっても安全ネットが至る所に用意してある。失業保険ももらええる機関すつともらわねば損という価値観。

学校教育がだめでも企業内教育でし

つかりした青年を育ててきたが、今では両方がおかしくなっているのでは。社会に目を向けずに自己中心的な価値観が蔓延すれば必ずみは至る所に噴出してくる。安全なはずの学校でいじめによる自殺者が出るなど今日では日常茶飯事の感もある。青少年の自殺などあってはならぬことながら、止まる様子もない。ゆとり教育からの完全撤退を成し遂げ、勤勞の持つ高邁な意味を語らねばなるまい。

今一度人間教育から見直していかねば、尊敬される日本人がいなくなってしまう。人として生まれなばよろしく禽獣と異なるゆえんを知るべし。教育再生こそが日本の活力回復の近道にして必須の道であることは間違いないだろう。気になる言葉がある。「忖度」の語である。もう悪の権化・代表の言葉とされてしまった。はたしてこれでもいいのであろうかおもんばかること、忖度すること、察すること。これらは日本人の美德の根幹ではないのか。以心伝心とも語られるが、すべて相手を思う大切な価値観。それが罪にされるのは道義や、道徳や法律に反する場合のみ。卑怯な、身勝手な、違法な、無責任な、責任の取れない、他人を害するものであってはならないのは当然であるが。

心を配る。他者のために心を尽くす。この行為まで疎んじることがあっては世は殺伐すぎしてしまう。もう忖度の語を悪しき言葉として使うのはやめるべきではないか。

「人並みで十分、楽しい生活をした」だから頑張るんだろ。 マスキ

言わへんわ。命は大事や。拳銃をもつてる相手に無理矢理でも素手で戦えとは言わんわ。やむを得ず逃げるが勝ちといった場面もあるわ。しかしこのシチュエーションやったら、ちよっと頭を働かせれば犯人を追い込むことは可能やで。しかし今回犠牲となった男性に加勢し、女子供を守ろうともせず、その女子供を押し退け、一斉に必死の形相でドミノ倒しになりながら、それでも女子供を踏み台にしながら逃げ惑う乗客の男共を想像するだけで、情けなく、ものすごく腹立たしい気持ちになる。

「このことを書くとき、凶器を持ったキチガイと戦うなど無謀すぎる。負け戦はしたらあかん。逃げるが勝ちや。」だのというオカマ脳が湧いてくるが、そういう連中は人生の正念場においても逃げる選択しかせえへんハタシ人間や。ほな聞くけど、明治維新を成し遂げた武士達が、このような時どうしたと思いますか？これが海外であったら、どうやる？間違ひなく、座席の椅子を盾にして逃げるんやなくて投げて抵抗し、その一瞬の隙を突いて周囲の男同志で一致団結して立ち向かってます。相手はプロのテロリストでもなんでもない、長身でもない、ヤクザ風でもない、ガタイが良いわけでもない、プロレスラーや格闘技家のような、いかつい見るからに強面の男ではないわけや。あんなか細い、眼のイッてもてる、ちんまいキチガイ一人に立ち向かうこともせんと女子供を押し退けて我先にと逃げたその場に居合わせた男共は恥を知れ！って椅子を盾にして逃げてたってアホかいな。車掌も

車掌や。何がマニュアルやねん。アホが書いたマニュアルなんか何の役にも立たんわ。椅子盾にして説得って！椅子を思い切り犯人に投げ飛ばし、周囲の男連中で目くばせなりして背後から思い切り〇〇を蹴り上げるか、蹴飛ばせば良かったんちゃうの？今の男は戦術も知らんし、思考も働けへんし、このままではほとんど日本の男がオカマ化していく一方やんか。しかし現代の男に目立つのはSNS、社会での自分よりも弱い女、子供(東京都での9歳の女の子を虐待させた義理の父親など)、老人へ怒りの矛先を向け、暴力を振るったり野蛮に振る舞う。今日も福岡で女子高生が顔を殴った男子高生が傷害で逮捕された。すべて弱者に向けて怒りの刃を向ける傾向が強まっている。喧嘩においても「対」の喧嘩ではなく、集団で寄ってたかって徒党を組み、弱者を追い詰めるのであり、最悪、死に追いやるのである。これは自称保守にもあてはまり、サヨクにも言えること。

伊調馨さん、その他の女性選手に対するセクハラやパワハラ報道で話題になった元日本レスリング協会強化本部長の栄和人氏も、威勢のいいこと言っていて、いざ自身が窮地に立たされたらセンチメンタル乙女になり、入院という名の逃亡をかまし、無様な日大アメフト部の老害監督も、「全部俺の責任にしたらええ」とか、かっこええことを言っていて立場が悪くなったら失禁して入院して引きこもってんねん。シンクワの鬼コーチで有名な井村雅代コーチが言っていた。自身のシンクワ教室で教えている際に「今の生徒は女の子より男の子のほうが失敗して怒られる」コーチ泣く泣く

今を生きるほとんどの男は、すべて逃げる選択をし、責任を負いたくないし、誰かに罪をなすりつけるか、なすりつけられそうになったら敵前逃亡するような保身にまみれた人間ばかり。こんな国民性であるのに政治家に対し、忖度してるだの、逃げるだの、安倍はあかんのだの、どの口が言うねん！

人様に不満をぶちまけるより、人のことをガタガタ言う前に自身が一人前の「男」であるのか、どうか確認を。女にここまで言われて悔しくもなるとも感じないのであれば早いうちに日本は終焉を迎えるやろね。ホンマに日本に「男」がおったら拉致問題も、とくに解決してるはずやわ。オカマしかおらんからいつまで経っても解決せえへんのは当たりの前。

三島由紀夫は見事に予言してたな。是非、彼の記事、今を生きる自称「男」のオカマに読んでもらいたい。

最後に新幹線殺傷事件において女性の盾となり、犠牲になられた男性のご功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

~~~~~  
あ~~~~、シエリー切れた。ここの3年封印していた「〇〇を蹴り上げ」が出た~~~~！この犯人の幸いは、現場に私とJellyがいなかったこと。マスキ

**男女、男の役割を忘れるな！  
UNK通信 男女平等「国論」**

**2018-06-16 大谷和正**  
<https://ameblo.jp/unk117-117/>

先日、東海道新幹線で事件があった。報道によると事件を起こした容疑者が、鈍(なだ)を振り回し近づくといった女性に

人に切りつけた。それを止めようとした梅田孝太郎さんが亡くなられたという事件であった。この報道で先日書いた「男女平等論」を思い出した。「子供を産み育てる主役は女で、男はそれを全力で支える。子供が成長するに従い父母の役割は変化していく。男の大切な役割の一つは子供たちの将来の社会がどのようなものであるべきかを論じ、それを実現させることである。先の大戦の敗戦により西欧の誤れる男女平等論が日本でも主流となり女を駄目にしたが、同時に男もダメにしたのである。」この文章だけでは男の大切な役割の中で最も大切なことを書き漏らしていたことに気が付いた。

最も大切なことは、女性、子供、家族など弱きものを全力で守ることである。今回の事件の様に狂気・暴力が彼らを襲うとき、男は身を挺して彼らを守らねばならない。先の大戦で特攻隊の若者が散華されたのも、この男の役割を全うするためだった。この大切な男の役割を戦後の日本の男は忘れさせられてきたのである。

男女平等であれば何も男だけ頑張る必要もない、男も女もそれぞれ自己責任で自分を守ればいい、余分なお節介は止めておこうということになるのである。

男の役割を果たすため犠牲となられた梅田さんにはただただ哀悼の気持ちを捧げたい。ここで言いたいのは梅田さん以外にこの車中に男はいなかったのかという疑問である。本当の意味での男はいなかったということである。

# 連合艦隊各艦の予定・活動報告

## NPO 法人百人の会

●第35 (通算102) 回定期理事会

平成30年8月6日 日程未定

サムティフエイム新大阪 4F-10

◎公開勉強会等の予定・検討中

【理事会】2〜3か月毎に開かれ、会の重要案件を議論します。理事会は理事の方はもちろんのこと一般のご出席も大歓迎です。

●模擬原爆投下跡地にて慰霊と視察

日時 7月22日 (月) 午後3時

場所 大阪市東住吉区田辺2-9

※ 地下鉄谷町線田辺駅地上に集合

## 英霊を被告人として救う会

【東京】

●控訴審判決 東京高裁

H30-10-25 (金) 13:30〜

(12:50頃傍聴抽選)

終了後弁護士会館 早退で報告会

●第2回口頭弁論・結審 東京高裁

H30-6-6 (水) 恙なく終了

【大阪】

●最高裁、上告棄却判決【確定】

H29-12-22

## 一条の会

●岡崎市・悠紀斎田植え祭り見学

●同所、所功先生講演会お手伝い

H30-6-3

## 編集後記

東京都目黒区のアパートで3月、船戸結愛ちゃん(当時5)が、父親の船戸雄大容疑者(33)からの暴行直後に死亡した事件で、結愛ちゃんは、自宅に手書きの文章を残していた。警視庁が明らかにした文章の内容は以下の通り。

ママ もつパパとママにいわれなくてもしっかりじぶんから きょうよりかあしたはもっともっと できるよつにするから もつおねがい ゆるしてゆるしてください おねがいしますほんとうにもう おなじことはしません ゆるして

きのうまでせんぜんできてなかったこと これまでまいにちやってきましたことを なおします

これまでどんだけあほみたいにあそんだか あそぶってあほみたいだからやめる もうぜったいぜったい やらなからね ぜったい やくせんします

5歳の子供に何でこんな文章書かせるんや。5歳の子供が遊ばなかつたら化物か。日々、許せない話ばっかりだが、結愛ちゃんの事件は特に腸(はらわた)が煮えくり返る。事件はだれの責任か。児童相談所が見逃した、社会からの孤独……。フザケルナ！ そんな話ではない。すべて日教組、左系の責任。学校で「権利」「権利」「権利」。「義務」

を死語にした日教組の責任ではないか。結愛ちゃんは母親の連れ子。この種の事件は皆このパターン。父親が気分を害すると困るので何も言えなかった。このイロボケ。娘より男が大事なのか。自分の命に代えても子を守る「義務」があることがわからないのか。それを教えるのが教育。学校であり親ではないか。そもそもがいくら少子化でも、親になる自覚がない奴に子供を作る資格はない。そんな人権はない。父親の船戸雄大、唾棄すべき野良犬やろう。こんなことになるくらいなら、こんな目に合わせるなら私のところに連れてきてほしかった。良いもの

は食わせられないが。我が家の愛犬ララ(タックスフンド)の方がよほど落ち着いた生活をしている。今から一緒に風呂だ。結愛ちゃん、人間だろ。犬よりましな生活をさせよう。この種の事件が起きるとすべにピークパーク専門家すらしてしゃべるのが尾木ママ。氏のブログを反吐が出る思いで見た。「権利」という単語抜きで文章が書けないのか。せめて「権利」と「義務」を同数で文章書けよ。世の中少子化。一人の子供も欠いてはいけない。私は共産主義ではないが、子供は国有財産。国の宝。増木

## 活動資金(協力)のお願い

郵便振替 00980-8-245647 MASUKI情報デスク  
口座番号 099-0245547 MASUKI情報デスク  
三井東京FJ銀行 五島中央支店004349 普通 増木集

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。マスキ情報デスクは後記団体にご縁のあった人の名簿を管理し、「M情報活動報告」を毎月全国約5千(目標1万)部(議員4割)発送しています。私どもは子供達に誇りある国を残すため必死で戦っています。ところが問題は活動資金。何卒ご協力をよろしく。※このM情報は特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

○カンパ金の主な用途は、下記サポート団体の、活動の資料等の発送費・道路、公園使用料・交通費、通信費・資料、ピラ等の制作・備品購入費等  
○M情報が管理・サポートしている主な団体  
・NPO法人百人の会  
・救う会大阪  
・憲法一条の会  
・英霊を被告人として委員会、その他  
◇ 前記口座、または同封の郵便振替(ご協力ください)

## 原稿・同封資料の募集

本紙に掲載ご希望の論文、情報等とごん表記事務所までお送りください。また、弊紙はメールアドレスで重さ制限は50gです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

## メール配信について

『M情報』では、日々、全国各地の間から情報が送られてきます。それをメールで転送配信します。内容はどこよりも詳しく多種多様。試しに一度受信してみませんか。要領は巻頭のアドレスに「メール希望」と空メールを(発信名義「NPO法人百人の会」)。